マニュアル

引違い窓 共通説明書　フレミングJ

施　工　編

- 引違い窓
- 片引き窓／両袖片引き窓
- 雨戸付引違い窓
- 面格子付引違い窓
- シャッター付引違い窓

フレミングJ 切替スケジュール

	2009							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全体発売スケジュール	フレミングⅡ・AJシリーズ販売終了		7月1日 東日本発売（北海道・東北・関東・東京・北陸） ※一部商品を除く。下記「対応アイテム詳細一覧」を参照ください。					
	フレミングⅡ・AJシリーズ販売終了					10月1日 西日本発売（中部・関西・中国・四国・九州）		

対応アイテム詳細一覧

	引違い窓（単体枠）						
	半外付		プラットフォーム枠	2×4枠	単純段差下枠	外付	半外付3枚建
	アングル付	アングル無					アングル付
発売月	09年7月発売					09年10月発売	

	片引き・両片引き窓					面格子付引違い窓	
	半外付		プラットフォーム枠	2×4枠	単純段差下枠	半外付	
	アングル付	アングル無				アングル付	アングル無
発売月	09年7月発売	—	09年7月発売	—	09年7月発売		

	シャッター付引違い窓						雨戸付引違い窓					
	枠・障子部											
	半外付		プラットフォーム枠	2×4枠	単純段差下枠	外付	半外付		プラットフォーム枠	2×4枠	単純段差下枠	外付
	アングル付	アングル無					アングル付	アングル無				
発売月	09年7月発売					09年10月発売	09年7月発売					09年10月発売

建材流通店様へのお願い

共通施工説明書は、必ず工務店様、ビルダー様等、サッシを施工される業者様へあらかじめお渡しください。

保存版

'09-7月 発行

目　次

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工の前に…

商品を正しく施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の施工については必ず本説明書に従ってください。

施工の後に…

取扱説明書・使い方＆お手入れガイドブックを施主様にお渡しください。

注意

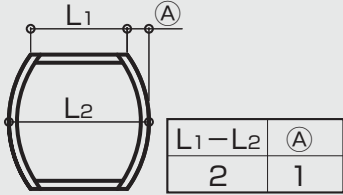
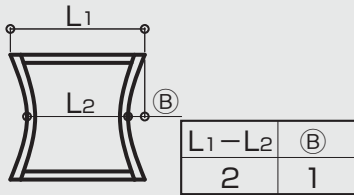
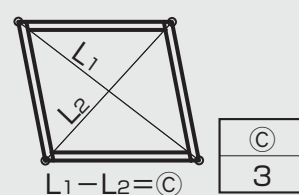
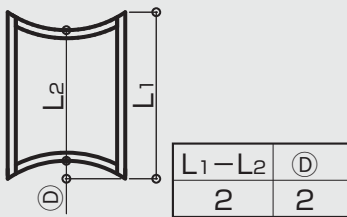
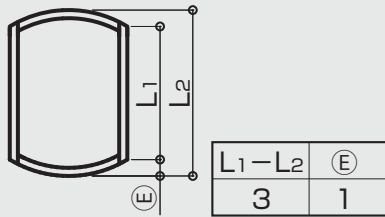
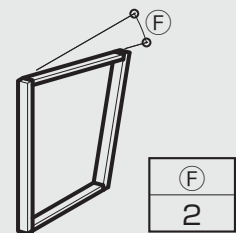
- 樹脂部はアルミ部に比べ破損しやすいため、取扱いには十分ご注意ください。
- 反り、変形等防止のため、樹脂部を直射日光に当てた状態で放置したり、高温にならないようにしてください。
- 樹脂部材の長さは、温度変化により多少伸び縮みしますのですき間を生じることがあります。
- 複層ガラス仕様の場合、相当の重量になります。
  運搬時には十分注意してください。
- 下枠に乗らないでください。
  樹脂部材が破損するおそれがあります。

お願い

- 取付開口部の水平・垂直・対角寸法およびねじれのないことを確認してください。
  取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因になります。
- 商品周辺の防水処理と商品本来のシーリングは説明書に従って必ず行ってください。
  漏水は、家屋や家財を傷める原因になります。
- 連窓・段窓する場合は、連窓方立・段窓無目の説明書を併せてご覧ください。

■施工時の注意・確認

サッシ取付精度が下記寸法以下になっているか確認し調整してください。
下記寸法を超えると気密・水密性が悪くなります。　単位：㎜

●サッシ枠のソリ(フクレ)

●サッシ枠のソリ(ツヅミ)

●サッシ枠の対角差

●サッシ上下枠のソリ(内ソリ)

●サッシ上下枠のソリ(外ソリ)

●サッシ枠のネジレ

取付上の注意

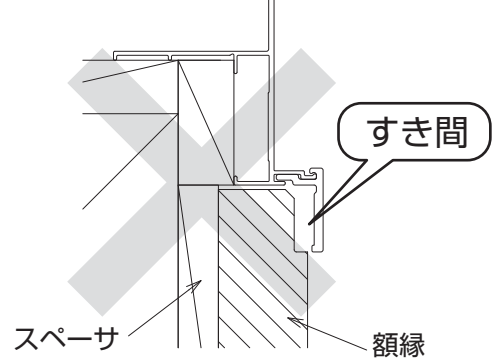
- 本体取付け箇所に必ず柱(間柱)があることを確認してください。
- 構造合板のみでの取付けはしないでください。強度が保たれません。

注　意

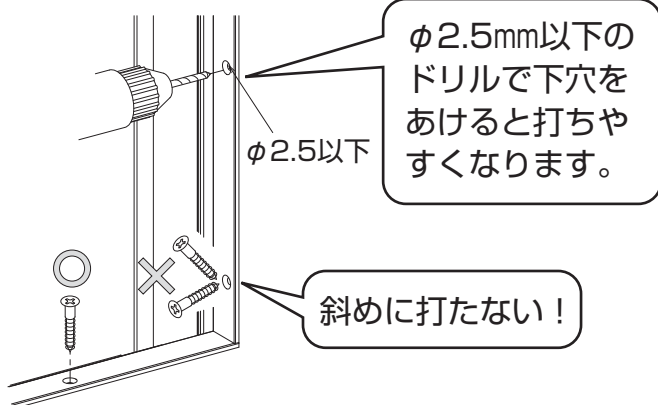
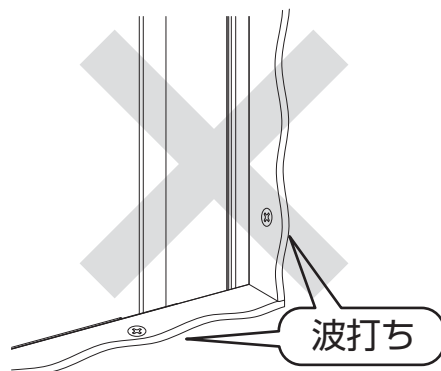
サッシ取付時、電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。

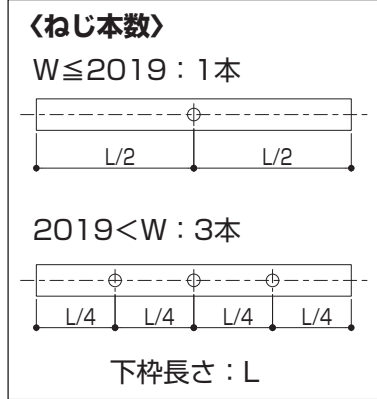
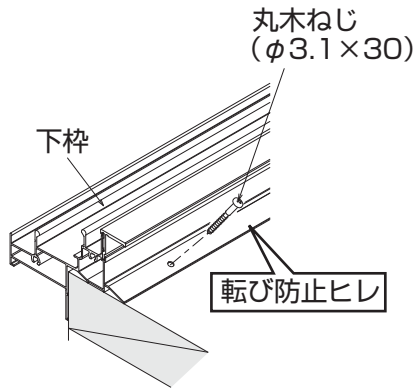
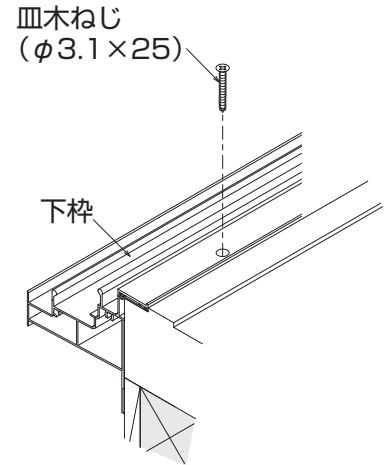
アルミ部・戸袋部：**2.0〜2.5N・m(20〜25kgf・cm)**程度
樹　脂　部　：**2.0N・m(20kgf・cm)**程度
樹脂アングル部　：**1.0N・m(10kgf・cm)**程度

お願い

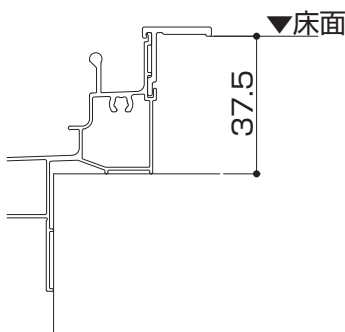
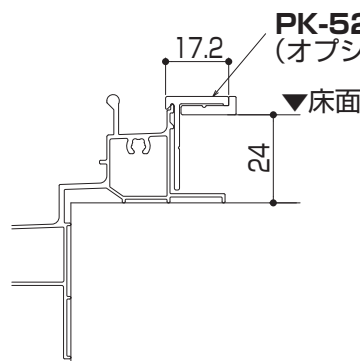
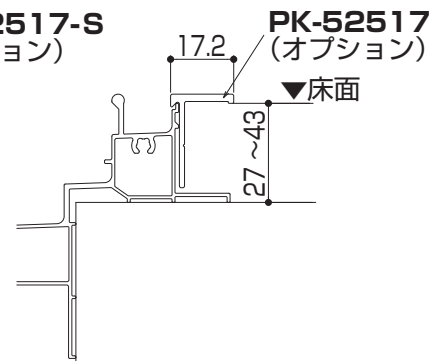
サッシ枠と躯体・窓額縁と躯体の間にすき間のないよう、適正な厚さのスペーサを入れてください。

※サッシ枠にソリ･フクレが生じた場合、**開閉力・性能に影響をおよぼす**場合があります。

注　意

- ねじは真直ぐに打ってください。

- 樹脂アングル部は、**適正トルク1.0N・m程度**でねじ止めしてください。

転び防止ヒレの固定について

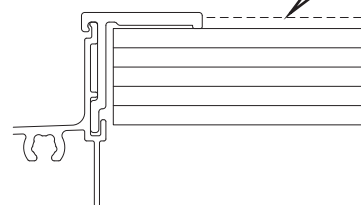
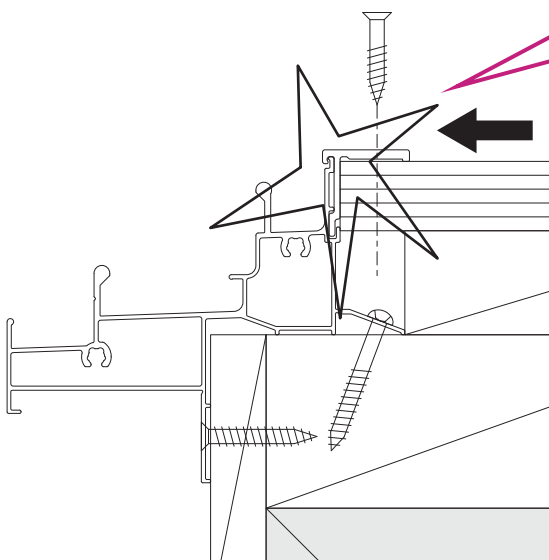
障子吊込み前に必ず固定してください。
先にねじ止めしないと枠が外側に転び、障子の開閉に不具合が生じるおそれがあります。

● 半外付型 テラスタイプ

床設定時の注意

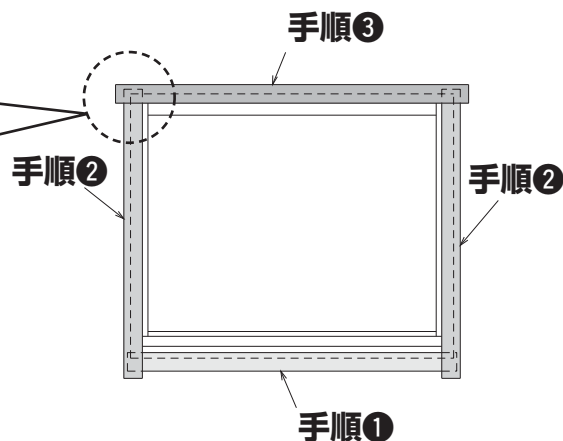
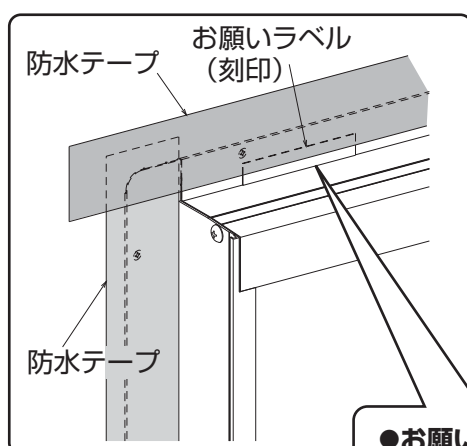
床面は図の寸法を参考に設定してください。

● 一般枠

● プラットフォーム対応枠・単純段差枠

床厚24㎜対応アタッチメント　　**床厚27～43㎜対応アタッチメント**

注　意

床上げの際は床材を強く押し当てないでください。下枠の転びの原因となります。

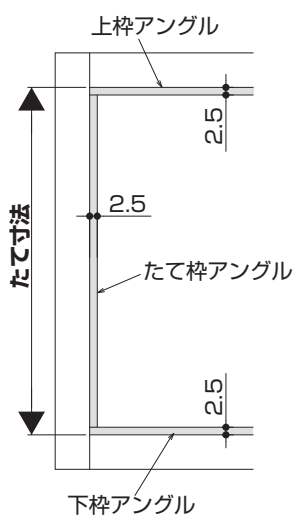
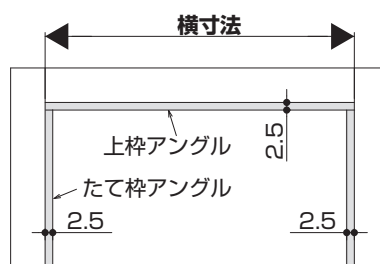
床面が水平になるよう調整してください。

施工時の注意・確認

防水テープの貼付

木額縁製作時の採寸

たて寸法

たてアングルと上･下枠アングルのコーナーを合せて採寸してください。

横寸法

上･下枠アングルの長さを採寸してください。

シーリングは必ず実施してください！

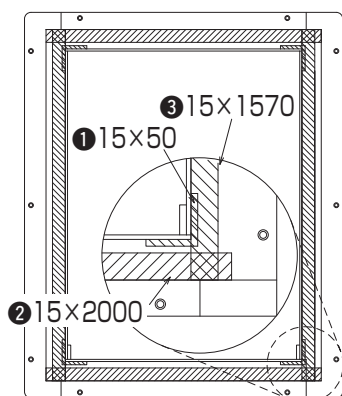
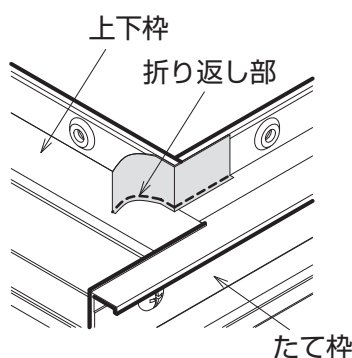
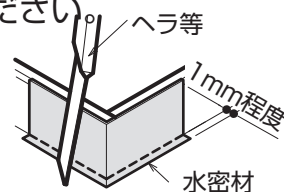
「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください**。
シーリングがされないと、**漏水の原因**となったり、家屋や家財を傷める
など**重大事故につながるおそれ**があります。

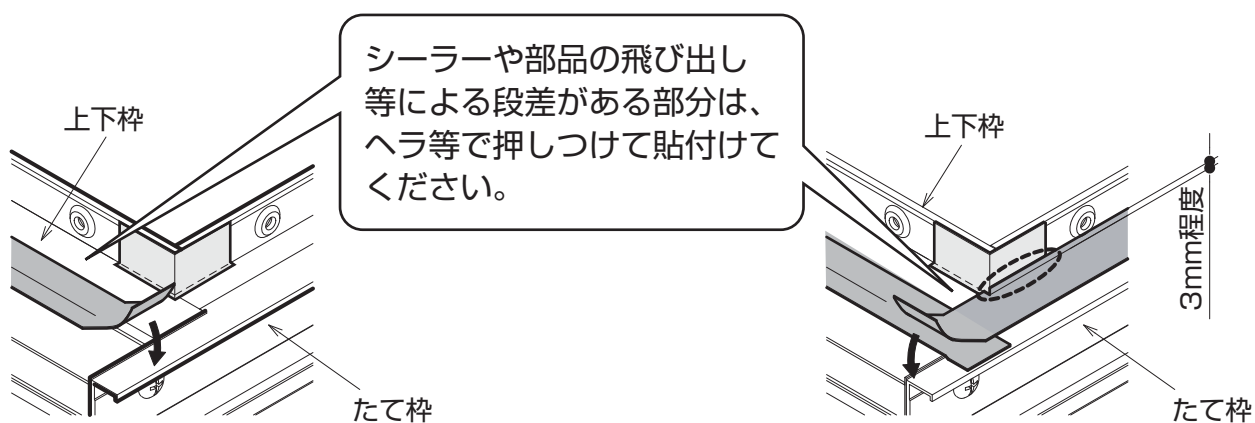
シーリング材
シーリングマーク

浴室納まりの場合の注意

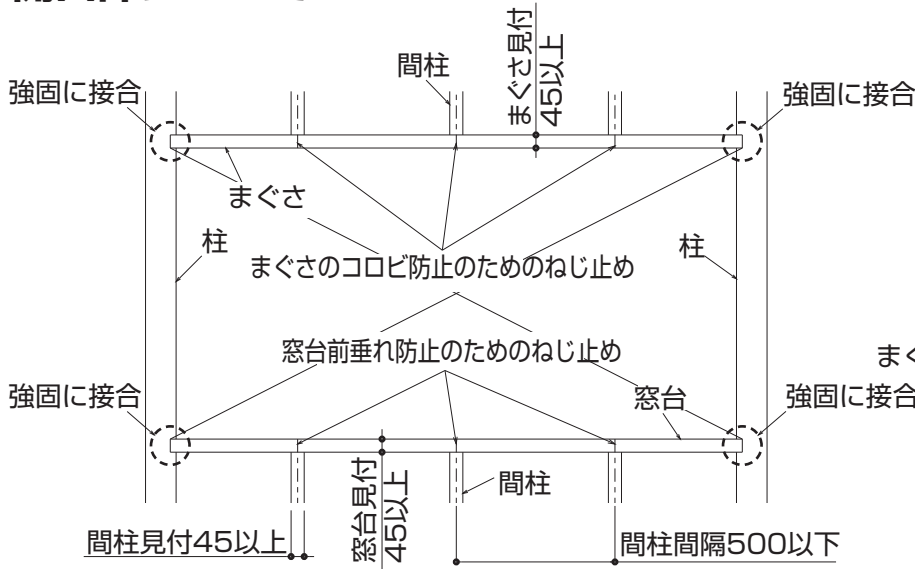
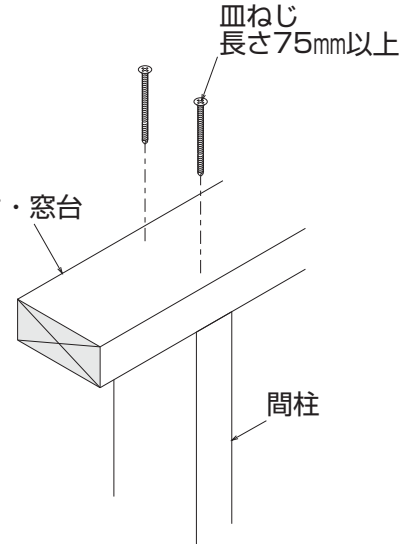
本商品は浴室専用ではありません。
浴室での使用の場合は、水漏れ防止のため防水処理を必ず行ってください。

水密材の貼付

組立てたサッシの水密材貼付け面にゴミや油、水等が付着していると本来の接着力が得られませんので、ウエス等で乾拭き後、水密材を貼付けてください。

❶15×50の水密材を1㎜程度**折返しながら**貼付けてください。

❷上下枠全長に15×2000の水密材をしっかりと貼付けてください。

❸左右たて枠全長に15×1570の水密材を3㎜程度**折返しながら**しっかりと貼付けてください。

注　意

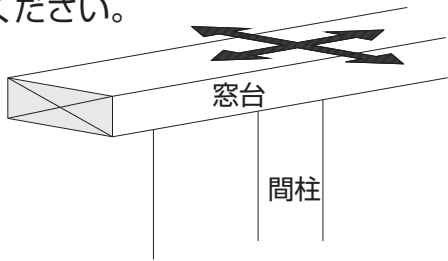
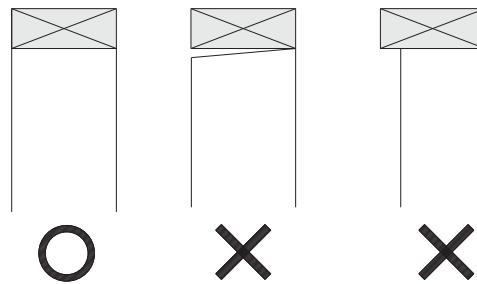
- 水密材間にすき間がないように水密材(15×50)の**折返し部を重ねながら**貼付けてください。
- 枠四隅の接合部はシーラー等で段差があるため、すき間ができないように押えて密着させてください。
  漏水の原因となるおそれがあります。

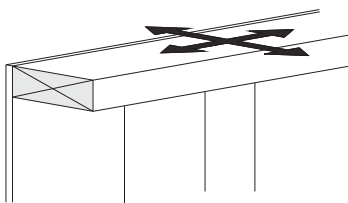
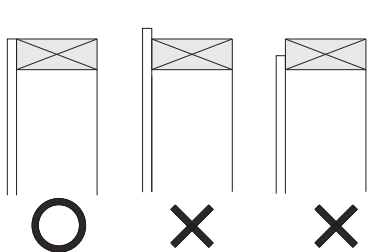
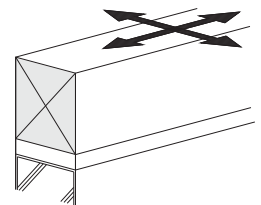
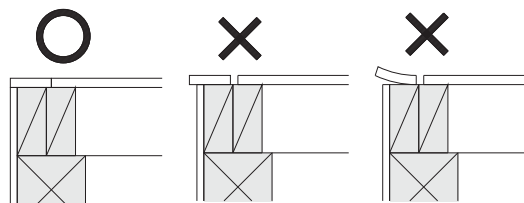
開口部について

■まぐさ・窓台・間柱は**見付45㎜以上**のものを使用し、間柱間隔は500㎜以下としてください。

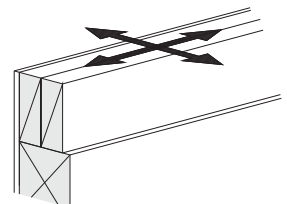
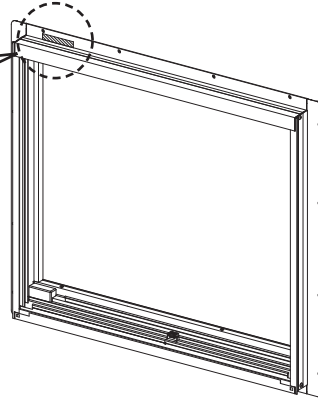
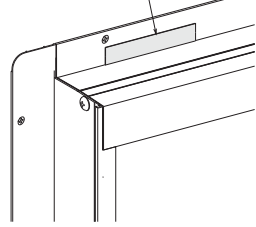
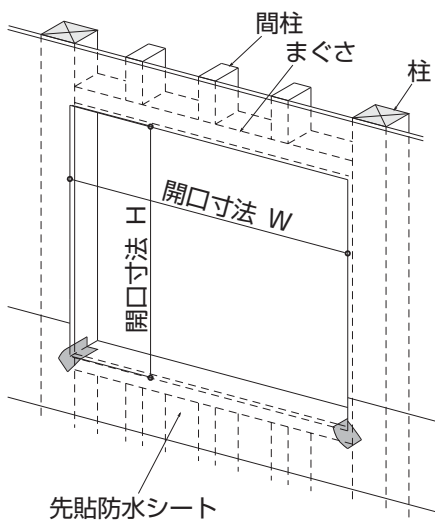
- 住宅およびサッシの性能保持のため、
- 支障なく開閉していただくため、

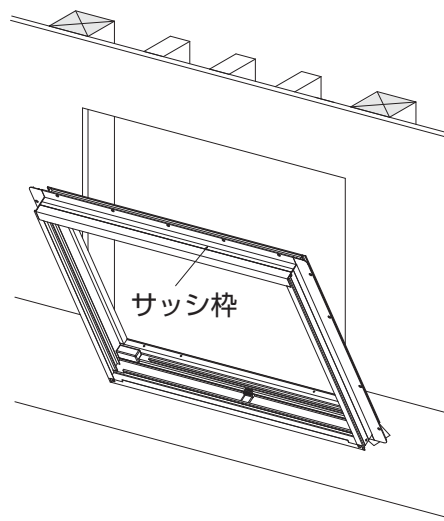
以下の内容を十分お守りください。

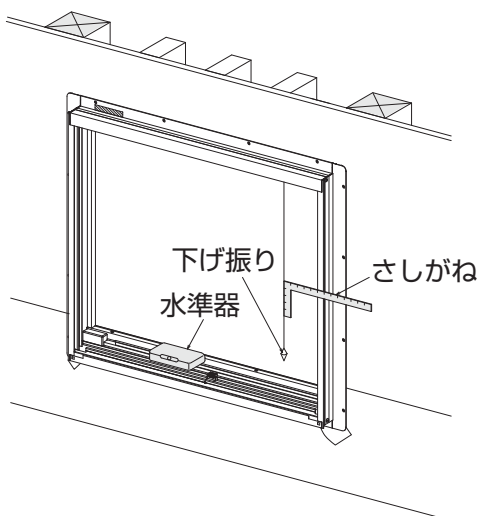
■在来工法

窓台(敷居)の水平は正確に出してください。

窓台と間柱は正確に組んでください。

■2×4工法

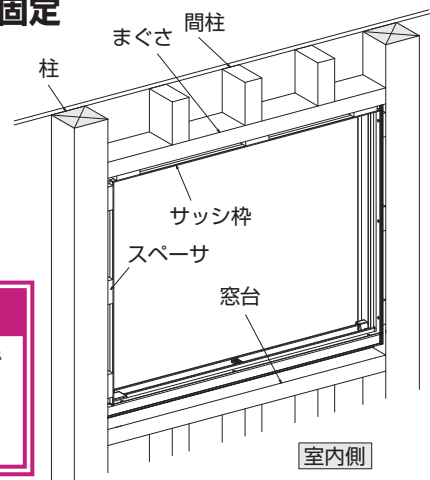
窓台(敷居)の水平は正確に出してください。

■在来工法用プラットフォーム対応枠

合板用合板は窓台と面一に取付けてください。

合板スペーサは、構造用合板にピッタリと取付けてください。

■2×4工法用単純段差枠

枠の上下について

●開口寸法の確認

実測した開口寸法とサッシ外法寸法W(サッシたて枠、外ー外)およびサッシ外法寸法H(サッシ下枠、外ー外)と比較し、その差(クリアランス)が適切な寸法であるか確認してください。

●サッシ枠の取付

組立たサッシ枠を屋外から軸組(躯体)にはめ込み柱とサッシ枠のすき間を左右同じ間隔に揃え、仮止めしてください。

●水平・垂直の確認

水準器で下枠の水平を確認し、下げ振りでたて枠の垂直をそれぞれ確認してください。

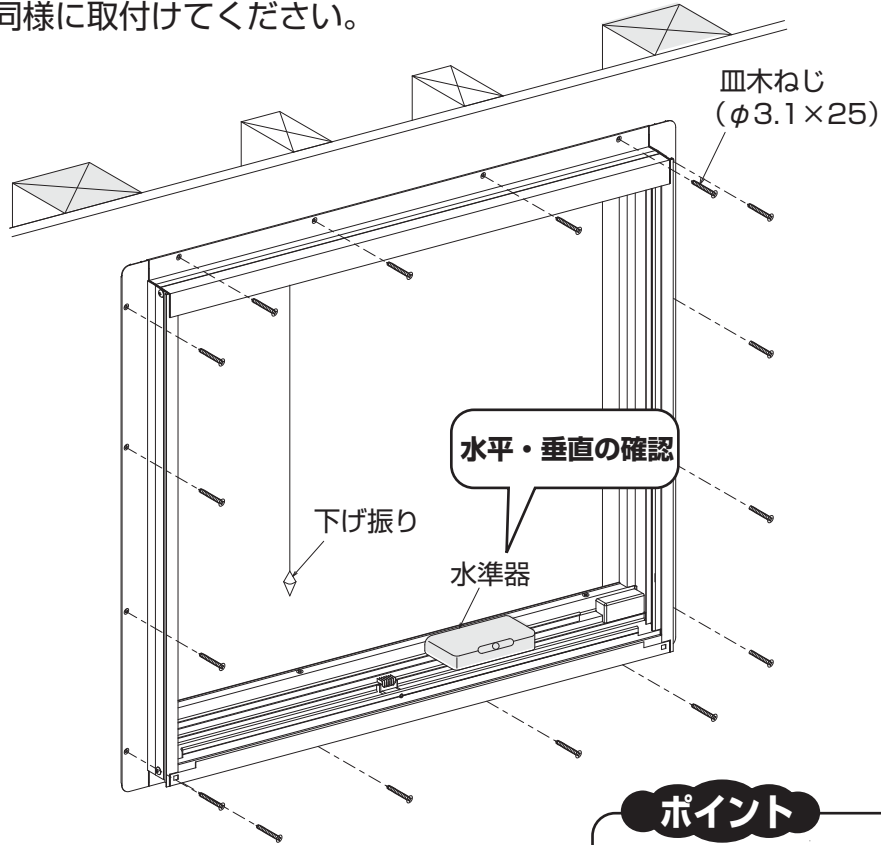
●サッシ枠の固定

注　意

スペーサを必ず入れてねじ止めしてください。

柱とたて枠および上枠のすき間に適切な厚さの木片等のスペーサをサッシ取付ねじ穴位置に入れ、柱とねじで止め付けてください。
左右のクリアランスは均等になるようにしてください。

■枠の取付

引違い窓・片引き窓/両袖片引き窓・面格子付引違い窓・雨戸付引違い窓

図は引違い窓枠の取付けを示しています。
他の場合も同様に取付けてください。

雨戸付引違い窓の場合

結露水抜き穴が付いています。
外壁の仕上げ寸法が超えないように
注意してください。

ポイント

■外付型の場合

シャッター付引違い窓

❹ルーフ板

❸上枠

❷たて枠

下げ振り

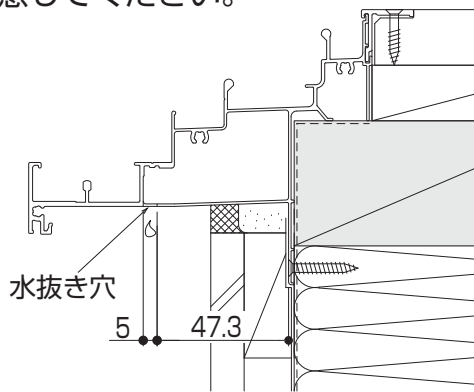
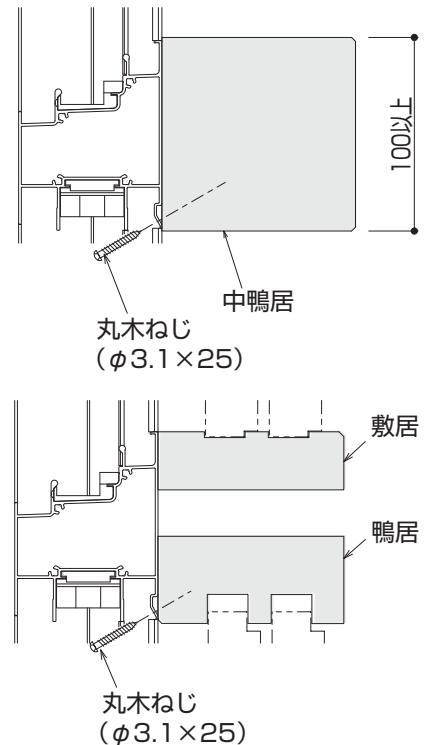
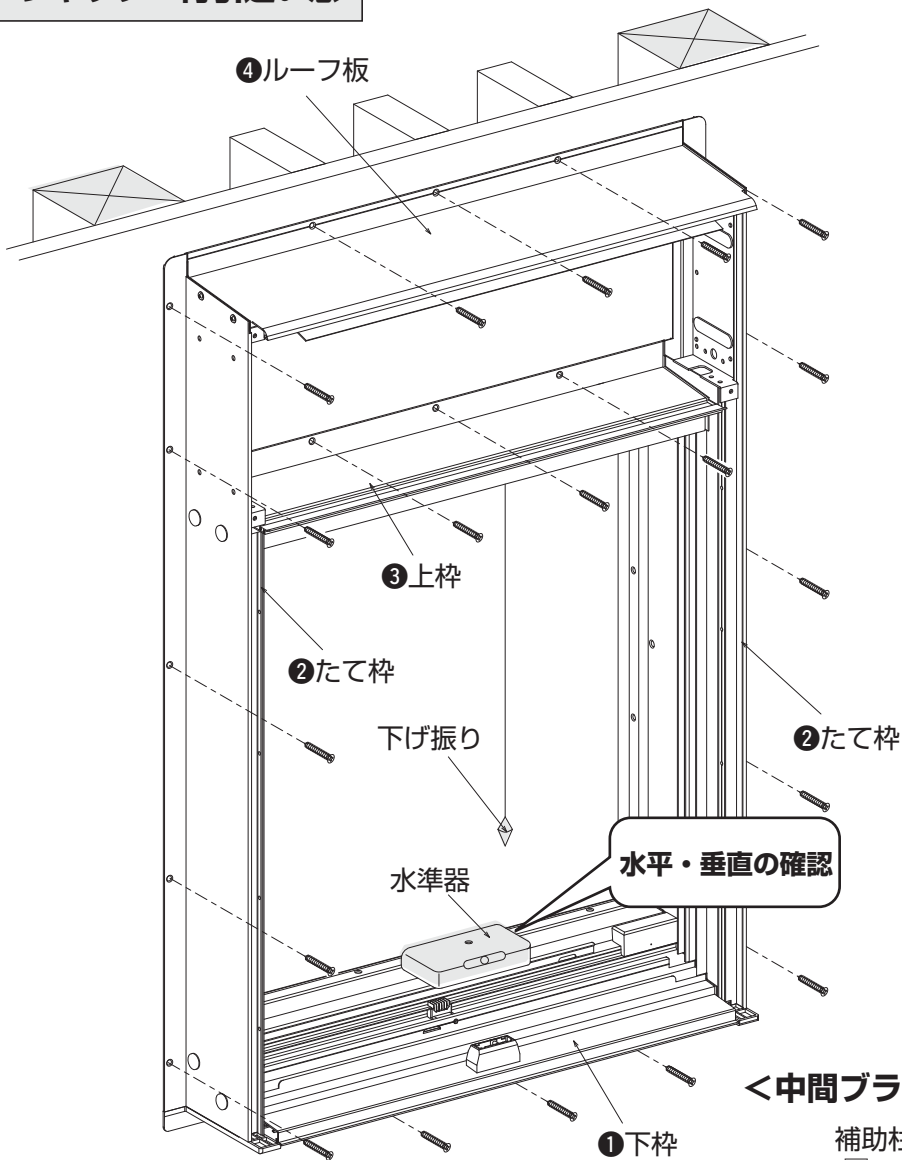
水準器

水平・垂直の確認

❷たて枠

❶下枠

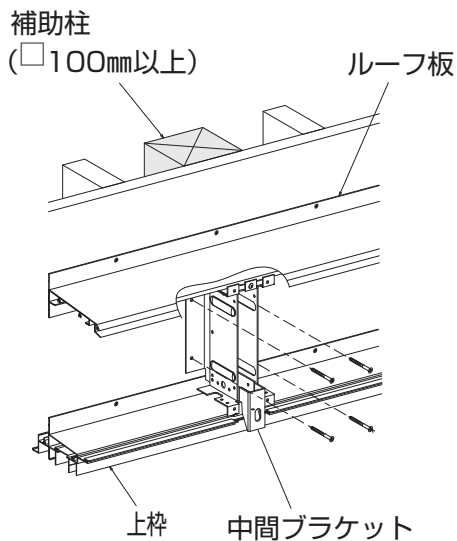
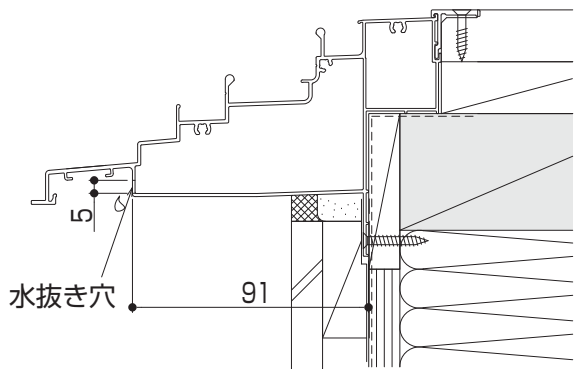
サッシ枠取付手順

❶下枠部
↓
❷たて枠部
↓
❸上枠部
↓
❹ルーフ板

結露水抜き穴が付いています。
外壁の仕上げ寸法が超えないように
注意してください。

<中間ブラケット部(W12尺系の場合)>

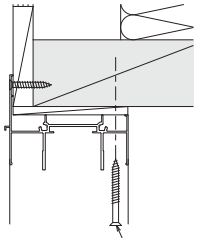
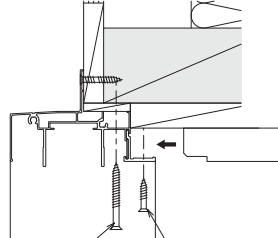
補助柱
(□100㎜以上)

ルーフ板

上枠

中間ブラケット

W12尺系の場合、中間ブラケット取付用の補助柱(□100㎜以上)を取付けてください。

10 枠の取付

〈在来工法〉図は引違い窓枠の取付けを示しています。

下枠部

〈窓タイプ〉

●内付型

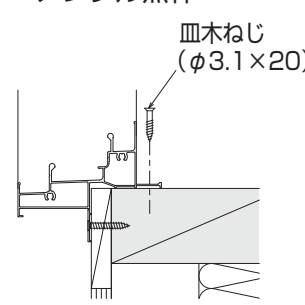
皿木ねじ
（φ3.1×20）

●半外付型
アングル一体枠

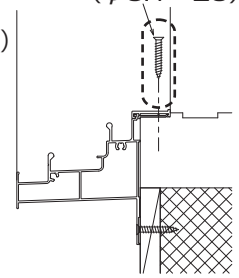
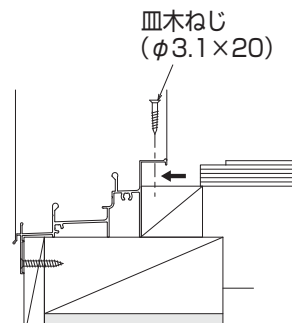
皿木ねじ
（φ3.1×20）

●半外付型
アングル無枠

皿木ねじ
（φ3.1×20）

●外付型

皿木ねじ
（φ3.1×25）

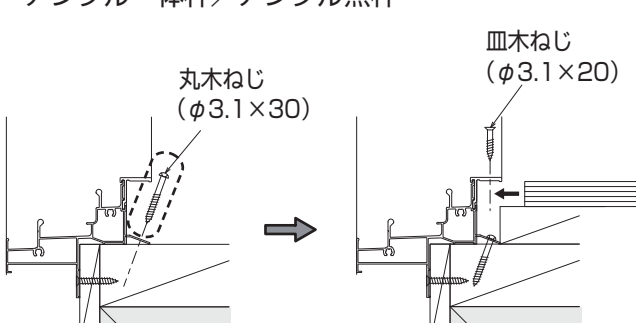
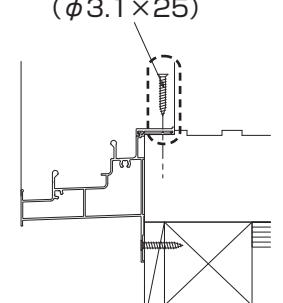
〈テラスタイプ〉

●内付型

皿木ねじ
（φ3.1×20）

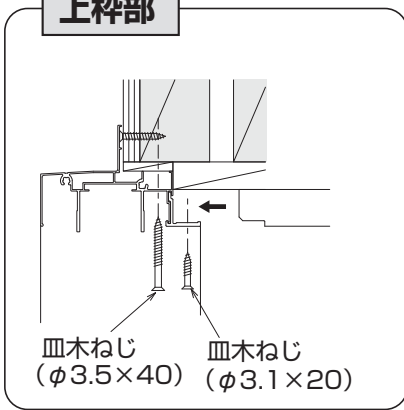
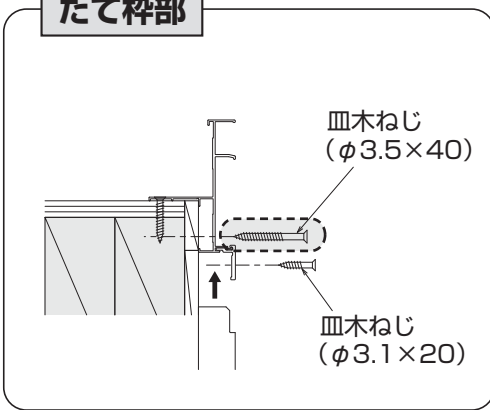
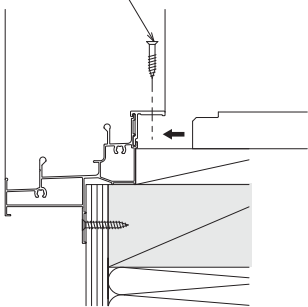
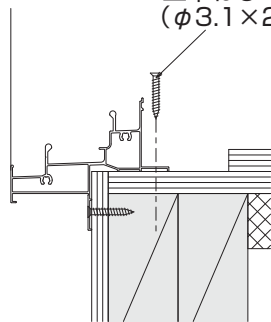
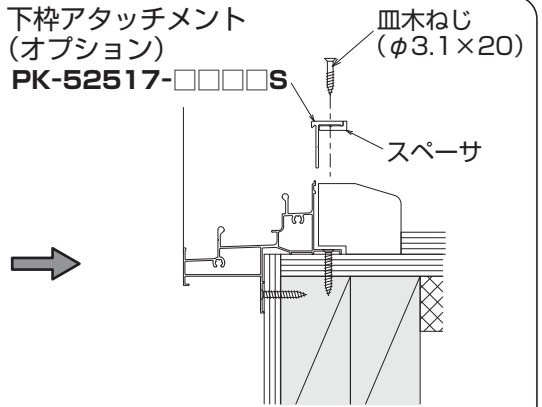
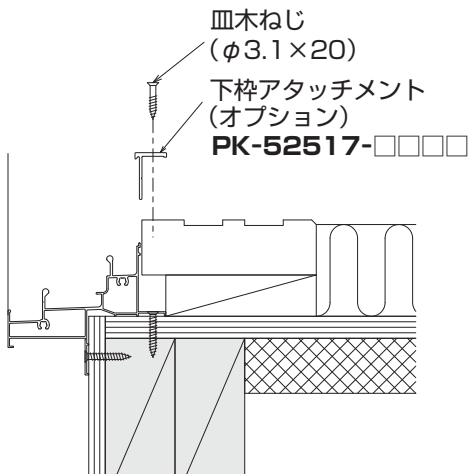
●半外付型
アングル一体枠／アングル無枠

丸木ねじ
（φ3.1×30）

皿木ねじ
（φ3.1×20）

●外付型

皿木ねじ
（φ3.1×25）

〈2×4工法〉図は引違い窓枠の取付けを示しています。

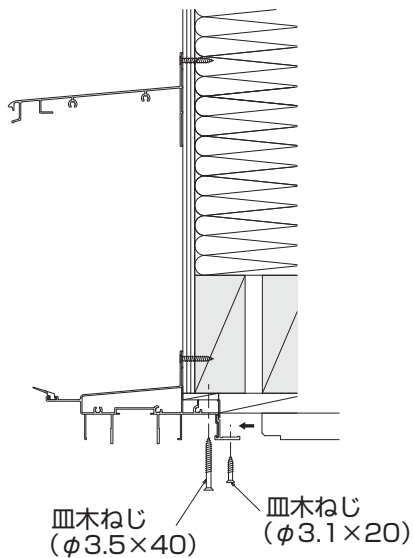
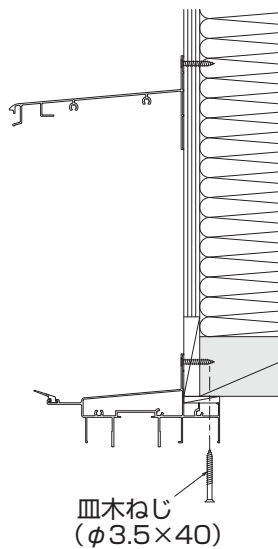
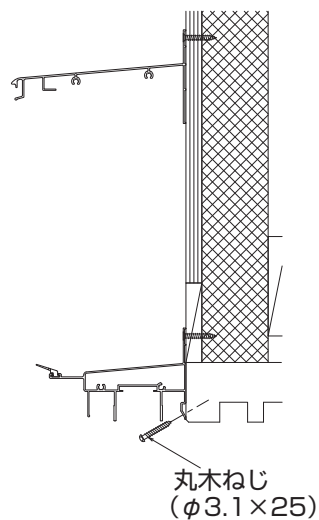
上枠部

たて枠部

お願い

印部のねじは
確実に締付けてください。

お願い

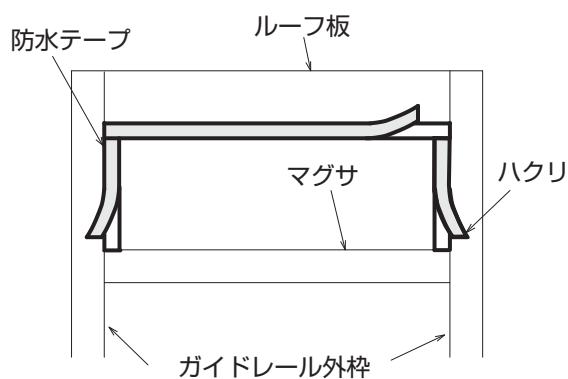
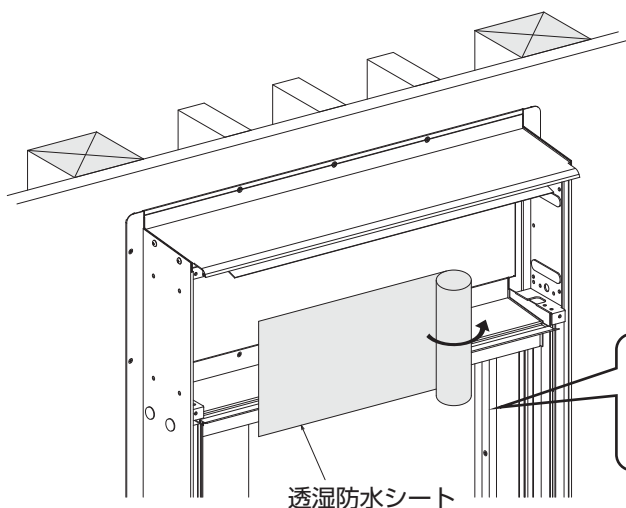
- 樹脂部分の固定ねじは締めすぎないでください。破損、変形するおそれがあります。
- 印部のねじは、障子吊込み前に必ず木ねじで固定してください。
  枠が外側に転び、障子の開閉に不具合が生じるおそれがあります。

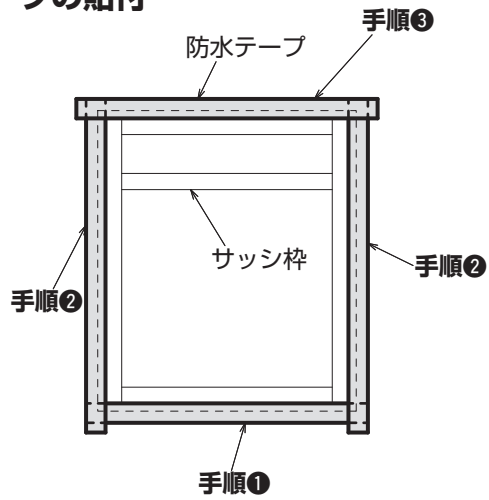
下枠部

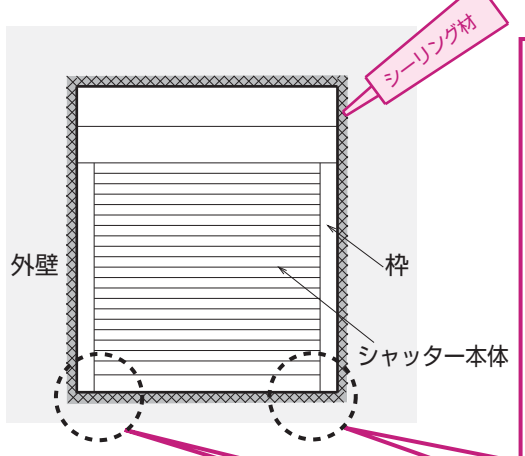
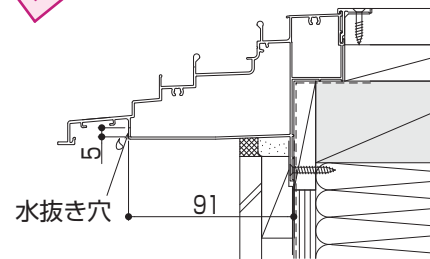
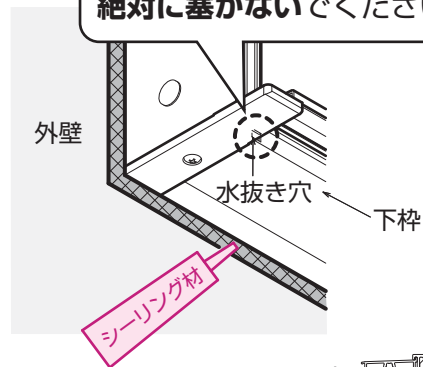
●和室納まり

シャッター付引違い窓の場合

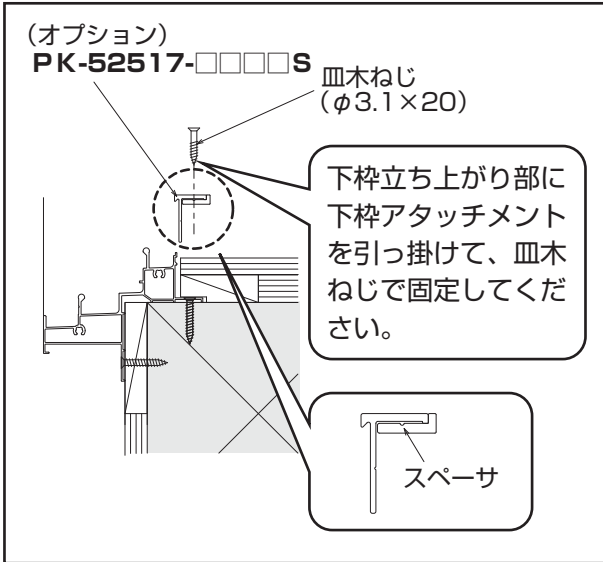
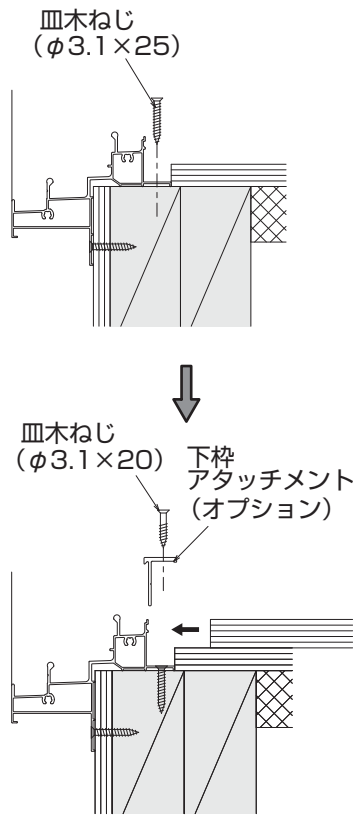
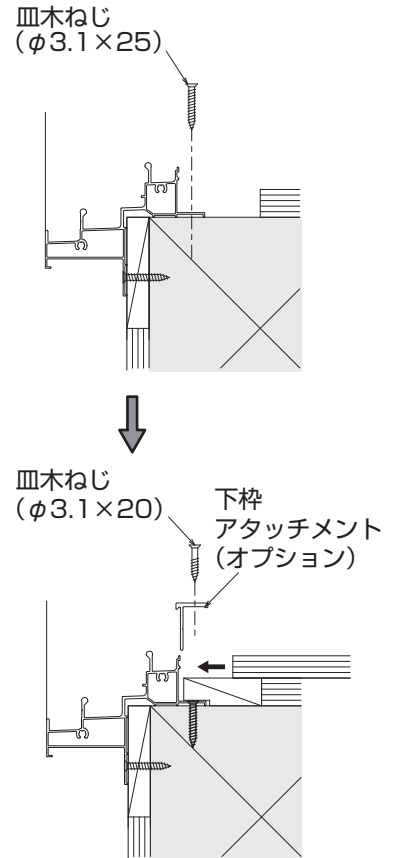
透湿防水シートの貼付

枠部材にテープ止めされている防水シートを本体取付部躯体側に必ず貼ってください。

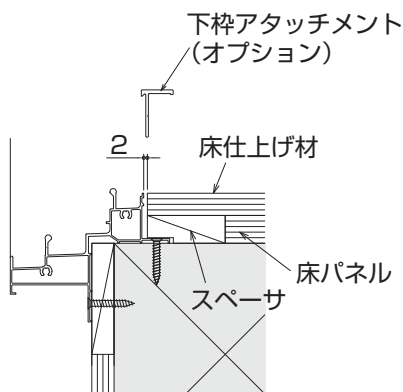
❶ルーフ板、両外枠の防水テープのハクリ紙をはがしてください。

❷防水シートを巻きほぐしながら貼付けてください。

シャッター付引違い窓の場合

防水テープの貼付

シーリング

サッシ枠と外壁材の取合い部等に十分シーリングを行って防水してください。

下枠アタッチメント(オプション)の取付 図は引違い窓枠の取付けを示しています。

PK-52517-□□□□……床厚27～42㎜対応(スペーサ無)
PK-52517-□□□□S… 床厚24㎜対応(スペーサ付)

ポイント

下枠アタッチメントは、下枠とオプションとなっています。

- 下枠アタッチメントは床仕上げ材を施工後に取付けます。
  サッシ下枠と床仕上げ材および床パネルとの間には、下枠アタッチメントを差し込めるよう、2㎜程度のクリアランスを必ず設けて施工してください。
- 下枠アタッチメントを紛失しないよう取扱いにご注意ください。

■床厚24㎜の場合

額縁をシャクリ有で納めるときは、図のようにスペーサを切断してご使用ください。